

東京都大田区におけるこども・若者意見反映サポート事業

「こども・若者意見反映サポート事業」の第二弾として、令和5年12月6日(水)・13日(水)に東京都大田区へファシリテーターとこども家庭庁職員を派遣しました。

実施概要

- ◆ 事業名：こども まんなかmeeting!!
- ◆ 目的:児童館を活用したこどもの居場所づくり、地域の子育て環境の充実などの検討
- ◆ 担当部局：東京都大田区こども家庭部子育て支援課
- ◆ 質問した内容：
 - ・じどうかんでやってみたいことは？
 - ・「ここにいたいな」っておもうのはどんなところ？
 - ・「あつたらいいな」っておもうのは？
 - ・じどうかんでなにをしているときがたのしい？
 - ・じどうかんに「くるのがいや」なのはどんなとき？

12月6日

- ◆ 会 場：高畑児童館
- ◆ 当日参加者：16人(小学生)
- ◆ 派遣人数：ファシリテーター 4人
こども家庭庁職員 3人

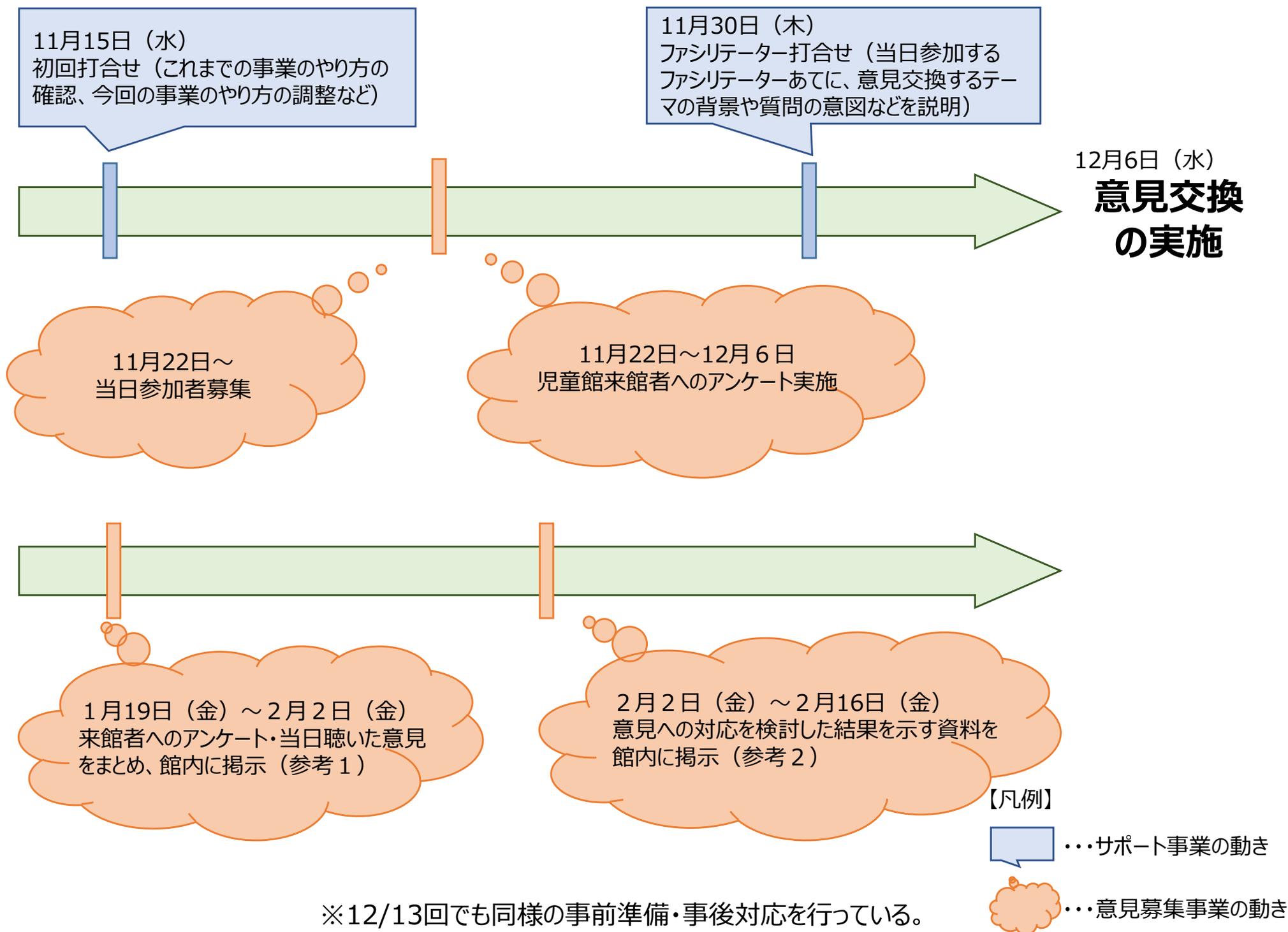


12月13日

- ◆ 会 場：下丸子四丁目児童館
- ◆ 当日参加者：14人(小学生)
- ◆ 派遣人数：ファシリテーター 4人
こども家庭庁職員 3人



大田区事業（12/6回）とサポート事業の取組の流れ



大田区事業（12/6回）とサポート事業の取組の流れ

～みんながつくるじどうかん～ 12月6日に「こども まんなかmeeting!!」をおこないました

みんなにきいたこと・かいてもらったこと

たかはた じどうかん

「ここにいたいな」っておもうのはどんなところ？

- としよしつ
- がくどうしつ
- ゆうぎしつ
- おふとんのなか
- もうふがあるベッド
- ゆうえんち
- すべてがおかしでできた、かわいいおかしのおせかい

じどうかんでなにをしているときがたのしい？

- こうさく
- ぬりえをするとき
- おかしをたべているとき
- まんがをよんでいるとき
- ドッジボール
- おりがみ
- こまと、けんだまと、ホッピング

じどうかんでやってみたいことは？

- バレーボール
- おやつづくり
- サッカー、やきゅう
- マンガをぜんぶよむこと
- たいそう
- がっき
- せんせいの、てつだい
- ゴルフ

じどうかんに「あったらいいな」って
おもうものは？

- みんなでいっしょにあそべる
ゲーム
- マンガ
- サッカーのボール
- かるた
- テレビゲーム
- ずかん
- リバーシ
- きせつのイベント
- てつどうもけい

じどうかんに「くるのがいや」なのは
どんなとき？

- いっしょにあそぶひとがないとき
- ねむいとき
- つかれているとき
- つまらないとき

◎これからのこと

集めた意見は、児童館の取組み（やること）にどう活かせるか考えて、みなさんにお知

参考 1

参考 2

12月6日に高畑児童館で実施した「こどもまんなかmeeting!!」で、
児童館での過ごし方について、みなさんから意見を聞きました。
児童館でどのように活かせるか考えましたので、結果をお知らせします！

意見を反映できた取組み

- ① きせつのイベントをしたい。
- ② ダブルダッチがしたい。
- ③ ピアノをしたい。
- ④ そとで、あそびたい。
- ⑤ せんせいのお手伝いがしたい。
- ⑥ みんなでいっしょにあそべるゲームが欲しい。
- ⑦ ずかん、リバーシがほしい。
- ⑧ ルールをおしえてもらえなかった。
- ⑨ サッカー、やきゅう、バドミントンがしたい。

どのように意見を反映できたか

- ① 12月にイベントをひらきました。こんごもできるようにします。
- ② 1月にダブルダッチ教室をひらきました。こんごもできるようにします。
- ③ 時間をきめて、できるようにしました。
- ④ 外であそべる日が作れるように、じゅんびしています。
- ⑤ イベントのポスターや、かんぱん作りを手伝ってください！
- ⑥ これからも、みんなで考えて、きめられるようにします。
- ⑦ ずかんとリバーシは、じどうかんにあります。あたらしいものがほしいときは、みんなでかんがえて、きめられるようにします。
- ⑧ みんながルールをわかるように、よりわかりやすくせつめいしていきます。
- ⑨ みんなが、じどうかんの中で、サッカーなどをやりたければ、しせつの大きさの中でどのようにできるか、みんなで考えてとりくみます。

意見を反映できなかった取組み

- ① おやつづくり。
- ② テレビゲーム、てつどうもけいがほしい。

なぜ意見を反映できなかったか

- ① たくさんの子があそびにきているので、すぐにはできませんが、さんこうにします。
- ② ねだんが高く、こわれやすいものなので、買うことがむずかしいですが、さんこうにします。

今回、取組みに反映できなかった意見も、今後の運営の参考にします。
ご意見ありがとうございました。

今回の取組の工夫点など

○工夫した点

区で実施する会議でのこどもの意見聴取全6回のうち2回について、ファシリテーターの派遣を行った。その様子を次回開催館の職員が見学し、ファシリテーターからのアドバイスも受けることで、さらなる意見聴取の取組みにつなげた。

また、会議の進行方法は、実際に会議を実施して得られた知見等をもとに、改善を重ねた。

		当初想定	12/6回	12/13回
会議の進行方法	①	1班、3～5人のグループに分ける。	会議の直前に、年齢の偏りやこども同士の相性も考慮したうえで、班分けを行った。	会議日までに、年齢の偏りやこども同士の相性を考慮したうえで、班分けを行った。
	②	各班に、ファシリテーター兼、書記を1名（計4名）配置する。	各班に、ファシリテーターと書記を1名ずつ（計8人）配置した。	左記と同様
	③	ファシリテーターに、会議の時間割を事前共有する。	会議が始まる直前の打合せの中で、2週間前から集めていた児童館来館者の意見も、ファシリテーターに共有した。	会議日の前に、児童館来館者から集まった意見の途中経過を共有した。また、事前に班分けを行っていたため、参加するこどもの普段の様子などの前情報をファシリテーターに共有した。
	④	参加者に対して、定刻の5分前に、会議場所へ集合するようアナウンスを行う。	想定どおり。	参加者に対し、定刻の30秒前から入室可能である旨を伝達し、準備を促した。
	⑤	定刻になったら、全体に向けて、本取組みの主旨と、発言者とその内容は秘匿されることなどのルールを説明し、班ごとに話し合いを開始する。	班ごとに分かれて座ったところで、話し合いに移行してしまった。	こどもたちが指定場所に着いたら、すぐに当初の想定どおりの内容を全体に向けて説明した。
	⑥	各班での話し合い終了後は、全体に向けて、意見反映のフィードバックを行っていく旨を説明し、会議を終了する。	想定どおり。	想定どおり。

参加者・関係者の声

参加者（こども・若者）の声

- ・自分の意見がいっぱい言えてよかった。
- ・いっぱいやりたいことが言えて、嬉しいと楽しいの両方
- ・色々なことが知れて、みんなの意見を聞いてよかった。
- ・他の人の意見を聞いて楽しかった。
- ・学童が、より楽しくなるといいなと思った。
- ・全部楽しかった。
- ・もうちょっと話す時間がほしかった。
- ・ちょっとむずかしかった。

自治体担当者の声

（1）事前準備

事前準備として必要なことは、こどもたちと議論の方向性を決定し、事前の情報提供のみならず、学習機会を確保することだと感じた。議論するテーマが抽象的であると、こどもたちとしても分かりにくく、行政としても意見を反映する実現性を高めることが難しくなってしまうと分かった。一方で、テーマを限定しすぎてしまうと、多様な意見が表明されなくなってしまう。このため、具体と抽象のバランスを鑑みながら、こどもたちとテーマを決めていくことが重要と分かった。また、意見聴取の前には、こどもたちが意見を出すにあたっての判断材料を提供し、より建設的な議論が展開されるよう仕組みづくりをしておくことも重要と感じた。

（2）意見聴取

意見聴取にあたっては、こどもたちが安心して意見を表明できる環境をつくることや、1つ1つの意見を取りこぼさないように拾っていくための仕掛けづくりを考えなければならないと分かった。具体的には、前者では、こどもたちに対して、誰がどのような発言をしたかは秘匿されることや、会議後にフィードバックを行うことを約束をすることが重要と考える。また、班分けを行って会議を実施する場合には、参加者の関係性を考慮したメンバー設定にも配慮する必要があると分かった。後者では、各グループに、ファシリテーターと書記は1人ずつ配置する必要があると分かった。兼任してしまうと、ファシリテーターが、こどもたちの意見表明しやすい環境の醸成や議論の整理に集中できず、本来の目的である意見聴取そのものに影響が生じる可能性があると感じた。

また、**意見聴取の工夫として、こどもたちに、議論の対象とそれに近い身近なものとを比較してもらうことで、議論の対象のアウトラインが明確になると分かった**。さらに、言葉で表現するよりも、書くことで意見を表明しやすいこどももおり、意見表明にあたっては、複数の手法を組み合わせることも重要と分かった。

（3）意見反映及びフィードバック

本プロセスは2段階に分けて実施した。1回目は聴取した意見の公表、2回目は意見反映の結果を公表した。この方法は、こどもたちに検討の進捗状況を共有できる仕組みになると感じた。特に、意見反映で苦慮した点では、反映が難しい場合の理由の伝え方である。こどもの年齢や発達段階を踏まえて、意見に対する正当な考慮と反映をより深く理解しなければならないと感じた。